

平成 30 年度 原田清流クラブ

(生きがいデイサービス・健康づくりデイサービス) 事業報告書

1. 運営状況の概要

富士市からの委託を受け、例年に引き続き生きがいデイサービス事業を行った。また、介護予防・日常生活支援総合事業として平成 28 年度から始まった健康づくりデイサービス事業も一体的に行った。

今年度も、これまで生きがいデイサービスや健康づくりデイサービスを利用されていた方が逝去された事や、自宅での転倒・骨折などで要介護状態になった事から、退会せざるを得なくなるケースが続出し、新規入会者はいるもの、全体の利用者数は減少している。年度末における生きがいデイサービスと健康づくりデイサービスの利用件数の比率は 1:3、年間稼働率は 45.9%となった。

なお平成 29 年度までは、生きがいデイサービス・健康づくりデイサービスは週 2 回利用できていたが、平成 30 年度からは富士市の方針で、要支援 2 の方を除き週 1 回の利用しかできなくなった。その関係で稼働日の変更を余儀なくされ、従来は火曜・木曜・金曜の週 3 回の稼働日だったが、平成 30 年度からは火曜・木曜の週 2 回にせざるを得なくなった。

2. 事業計画実施状況

(1) 職員資質を向上させるための方策

① 職員信条について

職員信条を遵守する事で、高い意識と自覚のもと業務にあたった。

② 研修について

外部の研修や内部研修へ積極的に参加し、自己研鑽に努めた。

5月	健康づくり・生きがいデイサービス従事者研修会	富士市保険部 高齢者支援課主催
2月	生きがいデイサービス・健康づくりデイサービス事業者連絡会	同上

(2) 介護予防に積極的に取り組むための方策

① 認知症予防について

- ・ 認知症を予防する為、日常生活・社会生活・情緒生活の機能低下の防止や、精神的安定・安心の場を提供するよう努めた。
- ・ 身体的・精神的な残存機能を活用した環境適応の学習(認知、感情の機能を刺激する)から、集団社会への所属意識を維持するよう努めた。

② 転倒予防について

身体機能からの対策として、バランス訓練・筋力増強・ストレッチング等下肢をはじめとする運動を取り入れ、筋力低下を予防するよう努めた。

(3) 業務改善

① 相談援助等の生活指導

利用者様の生活全般の相談に乗り、高齢者支援窓口と連携を取りながら適切な支援を行った。

② レクリエーション、趣味活動の充実

利用者様のニーズ・趣向に添った内容や、季節感を感じる内容等を取り入れ、利用者様の意欲を引き出すようプログラムを工夫した。

平成 30 年度 原田清流クラブの主な行事

4 月	お花見
5 月	歩行訓練(富士南イオン)
6 月	中華バイキング
7 月	七夕飾りつけ
8 月	歌と踊りのボランティア(ゆりの会)
9 月	外出(モロヘイヤ収穫)
10 月	福祉展見学(中央公園歩行訓練)
11 月	芋煮会
12 月	クリスマス会
1 月	マジックショー・読み聞かせボランティア(ごんぎつね)
2 月	寿司バイキング
3 月	外出(菜の花摘み)